

衛星データ解析技術研究会の 会員を募集します！

国研)宇宙航空研究開発機構(JAXA)の「西日本衛星防災利用研究センター」が産業技術センターに開設されました。それに伴い山口大学との連携による衛星リモートセンシング技術の各種分野への活用による「地域産業の活性化」が期待されます。これを進めていくためには、山口大学や県内企業が連携し衛星データを活用した新たな商品開発やサービスの創出に取り組むことが必要です。

そのため、山口県産業技術センターが主体となって、衛星リモートセンシングデータを防災をはじめ、農林、環境等の分野に応用する技術開発に向けた産学公連携の研究会を設立します。

概要

研究会ではJAXA 西日本衛星防災利用研究センター、山口大学 応用衛星リモートセンシング研究センターと連携しながら、山口大学で開発した衛星データ応用要素技術の技術移転を進め、研究会に参加する企業が連携し、事業化への課題の克服へ取り組みます。なお、研究会の活動内容は参加される企業の意向も考慮し検討します。

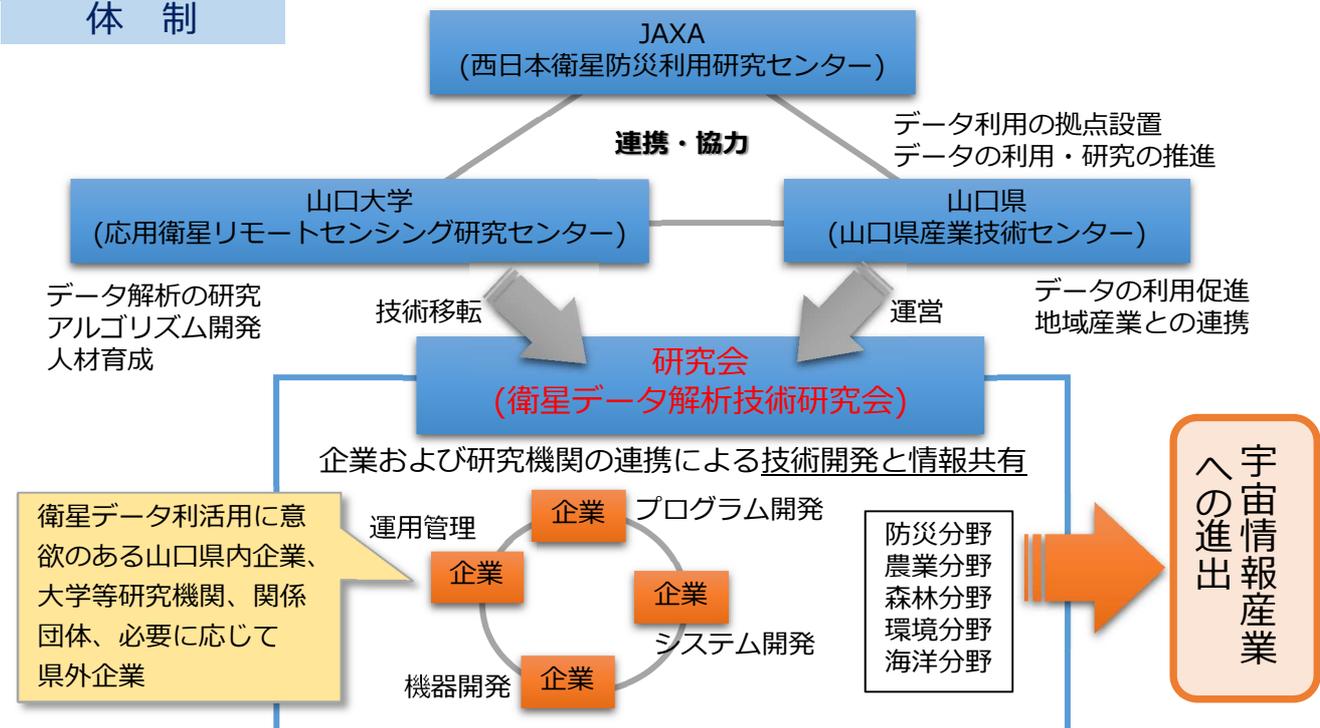
目的

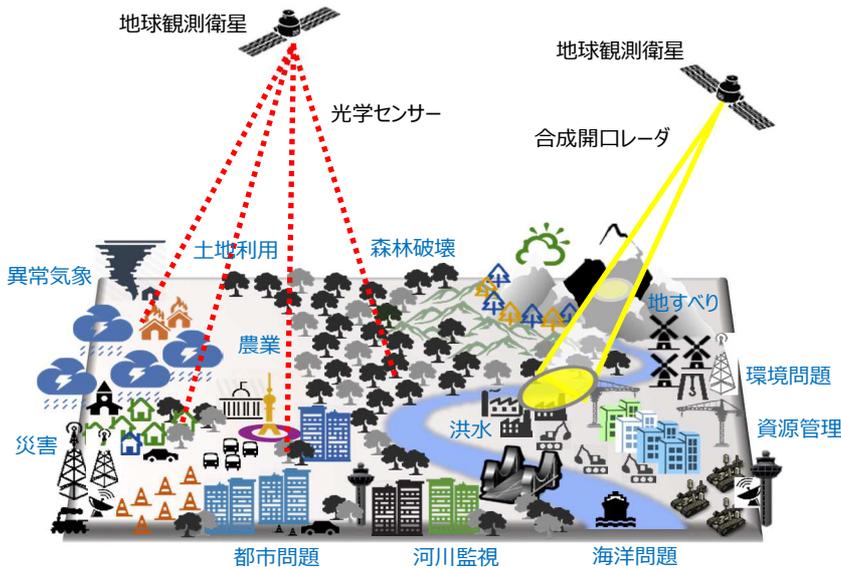
- (1) 衛星リモートセンシング関連の新事業創出
- (2) 企業における衛星データ解析技術、衛星リモートセンシング技術および周辺技術獲得への支援
- (3) 衛星リモートセンシング関連新事業への参入促進支援

主な活動内容

- (1) 衛星データ応用に関する調査・情報提供（講演会等）
- (2) 衛星データ解析技術に関する技術者育成（研修、セミナー等）
- (3) 衛星リモートセンシングに関するノウハウの獲得（山口大学への研究委託等）
- (4) 開発した衛星データ応用要素技術の移転支援（山口大学からの技術移転等）
- (5) 衛星リモートセンシングに関する事業化支援（企業連携による技術開発等）

体制





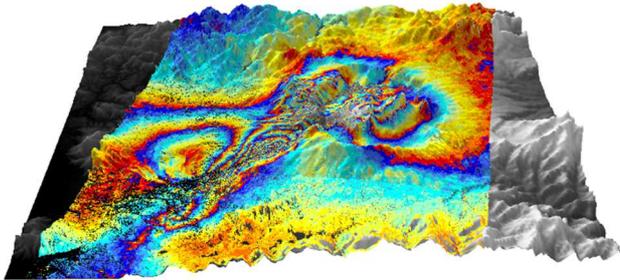
リモートセンシングとは、離れたところから、対象物に直接触れずに、大きさ、形、数、性質を観測する技術です。

地球観測衛星に搭載した観測機器（センサー）により、宇宙から地球の表面を観測する技術のことを「衛星リモートセンシング」といいます。

地球観測衛星により集められた「衛星データ」を「解析」することで、災害の監視、資源管理、森林の分布、環境・気象情報や環境破壊、農業・漁業支援など幅広い分野における利活用が期待されています。

災害・減災分野

- 津波の被害域の把握
- 地震による地盤変動の把握
- 地すべりや洪水の把握
- 火山活動の監視



地球観測衛星「だいち2号」が観測した熊本地震（2016年4月）の地殻変動

森林分野

- 森林植生の把握
- 違法伐採の監視



アメリカの地球観測衛星ランドサット（©米国地質調査所）を解析し検出した山口県の竹林分布

お申し込み

▶ 入会を希望される方は必要事項を記入の上、右記まで申し込み下さい

FAX 0836-53-5071

E-mail mori@iti-yamaguchi.or.jp

企業・団体名		
担当者	部署	
	役職	
	氏名	
住所	〒	
電話番号	()	—
FAX番号	()	—
電子メール		

事務局・お問い合わせ先

〒755-0195 山口県宇部市あすとぴあ4-1-1
 (地独) 山口県産業技術センター 企業支援部 電子応用グループ 森・藤本
 TEL : 0836-53-5052 FAX : 0836-53-5071
 E-mail : mori@iti-yamaguchi.or.jp URL : <http://www.iti-yamaguchi.or.jp/>